

1, 授業者より

- 予定していた学習時間が、はじめのところ（ワークシート記入まで）でかかってしまった。
- 交流の段階で、時間が気になってしまった。
- 子ども達の状態が、緊張しているのとおだっている状態だったこともあり、動きが鈍かったり、声があまりで出なかったりするところが気になった。
- 全員のリズム発表が出来たのはよかった。
- 1年生としては、がんばったと思うが、授業者としてはもう少し盛り上げたかった。
- 日常の指導について反省することがあった。
- 支援については、日常とちがうところがあった。

2, 共同研究者より

- 千教振は、部会員が少なく、授業者を探すのが大変だった。
- 高台小学校でも授業研究を行い、課題が明らかになって今日を迎えている。
- リズム指導は日常的に取り入れているので、リズムづくりは学年の実態を考えてもよくできていた。
- 全員発表を条件に授業作りを進めてきた。

3, 質疑応答

- 授業作りでの資料について…指導書中心、日常的に取り入れているリズムは「ザ・ボディーパーカッション ほかほかパン屋さん」～音楽之友社・山田俊之 著 ～どの学年でも取り入れている。

4, グループ討議

- ①リズム作りが全員できていた。メトロノームなどあったらよいのでは。音の出し方の工夫まで求めるのは、難しかったのではないか。ワークシートでは、1年生でも取り組みやすかったのでは。早くできた子もいたので、何パターンか作れる用意があっても。リレー発表では、「問いと答え形式」になっていたのでは。
→本時で全員が楽器に触る時間を設定しなかったのは、前時の学習までに楽器に触る学習をしていたため。
「ミドレ」は教科書を参考にした。
- ②全員がリズムを作り、それを全員が発表できたことがよかった。
声を出してリズムを打つこともできたのでは。
ワークシートはよかった。
1年生の合同音楽での学習では難しいのでは。学級での学習だと楽器に触る時間や発

表する時間が保障できるのでは。

→合音は、年度初めから取り組んでいるので。

「主体的」を音楽部会で、どうおさえているか。

→子どもたちが、自分で音楽表現を工夫して、生き生きと活動すること。

③学習の流れやねらいでワークシートの順や学習の流れが変わるのでは。

「ミドレ」子どもの満足感を重視するのであれば、「発表者と全員」や、集中させる工夫があっても。

1年生に対する配慮では、発表のしかたやワークシートの配り方、ICT活用でリズムを大きく写すなど出てくるのではないか。

→発表のしかたについては、特に考えず学級ごとに発表した。

④日常の積み重ねがリズム作りに反映されていたのでは。

「ひし形」のリズムを書かせるのは難しかった。それに取り組んでいるので感心した。

「問いと答え」の発表のしかたでは、課題も感じられた。発表する子が前に出て工夫するなど。

「表現を深める」～楽器の音色の工夫は

発表の工夫では、口でリズムを打って実際に音を出すなどの工夫がいろいろ考えられたのでは。

ワークシートは、工夫されていた。前時までの楽器の音色の工夫については、掲示する場所や楽器のイラストなどを加えるなどの工夫があってもよかった。

⑤1年生なのにリズム作りが全員できていたのですごかった。ワークシートの工夫。

全員発表できたことが満足感が高まったのでは。

「どのようなおと」を書く時間が少し気になった。楽器を実際に鳴らすなど工夫があっても。その音色にした根拠を考えるのは難しいと感じた。リズムと音色に分けてもよかった。

⑥前時までのリズム遊びをしたときに、ピアノの音だけで子ども達が動けたのは素晴らしかった。

音色について考えるのは、1年生は難しいと感じた。

発表のときは、「ミドレ」の掲示など手だてがあってもよかった。発表の仕方では、後ろを向かないでするなどの工夫ができたのでは。ワークシートでは、ひし形は難しいと感じた。

→掲示物の色は、貼った時に見やすい色で作成した。

⑦リズム活動が日常的にできている。課題が明確であった。発表には、「ミドレ」でリレーで全員が発表させるところが勉強になった。

リズム作りを中心に音色を考えるのはなくてはよかったのでは。「ひし形」はちがう形にした方がよい。(教科書)

⑧リズム作りの評価については、ワークシートにいくつか書けるものでも。書き方の工夫(ひし形)発表のしかた、最後の列は全員が後ろに向いてしまうのもったいなかった。楽器に触らせて学習するのが望ましいが、時間がないので仕方がないと感じた。

発表の時に速さがバラバラになってしまった子がいたので、一定のリズムが流すなどの工夫があっても。

ワークシートの工夫（いくつか書き込めるなど）

- ⑨作ったリズムを掲示するのがよかった。楽器を選択したら子どもは触りたいと思うのでは。みんなの前で発表する前に練習する時間をそう少し取ってあげれば、自信をもって発表できる子が増えたのでは。

ワークシートは素晴らしかった。

- ⑩指導者の指示や声掛けがシンプルで素晴らしかった。リズムの聞き取りが難しいところがあったので楽器などがあっても。発表の工夫が考えられた。ワークシートは子どもがかく欄が大きかったらよかった。

- ⑪「問いと答え」音楽の仕組み→四分音符など

作ったリズムの練習について
ねらいに合わせて学級音楽をするなど。

- ⑫子ども達の取り組み方が立派だった。

楽器を使った発表では、集中が全体に上がった気がした。

発表の時間の保証～合音での学習と学級での学習

リレー発表でリズム発表は有効だと感じた。

授業の楽しさをリズムの発表で手足などを使うなどの工夫を。

「問いと答え」～ミドリ…前時までの行進曲から

発表の工夫が考えられた。

「リレーでリズム
発表」

みんなが発表することを考えた
発表のしかたでした。



床に座って丸くなり、熱心なグループ討議をするみなさん



石教研音楽部会第二次研究協議会

学習会のまとめ

教材紹介（恵庭）

リコーダー『旅立ちのアンダンテ』『月あかりの道』を紹介していただき、最後に合唱曲『絆』をみなさんで合唱しました。



レポート発表（江別）

大麻西小学校の林田先生の授業についてのレポート発表でした。顔のマッサージをしたり、軽くジャンプをしたりしながら、リラックスさせていました。授業の途中で体育館を走らせることもあるそうです。

発表の後、みなさんで『明日を信じて』を合唱しました。

教材紹介（石狩）

- ① 「未来スクールステーション」を使ったリズムうち
- ② 器楽の指揮の見せ方
- ③ ドレミ体操
- ④ 『クラッピングファンタジー』
- ⑤ 『ハローハロー』『朝のあいさつ』
- ⑥ 『茶色のこびん』
- ⑦ 『あたまであくしゅ』『HEIWAの鐘』と、盛りだくさんの教材紹介となりました。



教材紹介（北広島）

『ずいずいずっころばし』

『けむしがさんびき』

『OMO I YARI のうた』を紹介していただきました。

『けむしがさんびき』では、「きゃっ！」というところが、とてもかわいい教材でした。『OMO I YARI のうた』は、手話をつけると、さらにすてきになるそうです。



どの市町村も工夫された発表で、とても有意義な学習会となりました